

「拓哉のなやみ」

上峰中 3 年 C 組道徳だより 1 号
(2019. 5.12) 文責 Oo. oO

4 月 21 日の「ふれあい道徳」で、「拓哉のなやみ」という題材を使って道徳のオリエンテーションを行いました。その時の道徳ノートを紹介します。(敬称略)

○友だちとの約束は大切だけど、自分の考えも大切だと思いました。みんなの意見などを聞いて、いろいろなことがわかったし、自分の考えを人に言ったりして、わかったのでよかったです。

○今部活に入っていて、最初はきついなと思っていたけど、3 年間続けるときついけど楽しいなと思えるので、拓哉も新しいことにチャレンジしたり、自分がやってみたい方にしたらいいと思いました。これから進路のこととかで迷うこともあるけど、新しいことでも自分がしたいと思う方向に進んだりしたいと思います。

○自分がやりたいことをやるのも大事だし、友達との約束を守るのも大切なので、簡単には決められないことがわかりました。もし、自分が拓哉だったら、やっぱり悩むと思います。でもしっかり悩んで決めたからこそ頑張れると思います。こういうことがあったら、しっかり悩んでから決めたいです。

○自分だったら楽しめる部活に入るということを考えました。楽しむことができる部活を選ぶのが一番いいなと学ぶことができました。

○自分は陸上部だなと思ったけど、サッカー部の人の意見を聞いて、なるほどなと思いました。結局は自分で決めなければならないけど、新しいことに挑戦することも大切、今までしていたことを続けていくことも大切なんだなと思いました。私は冒険心がないので、挑戦することは苦手だけど、今日初めて挑戦することもいいなと思いました。

○自分の意見と違う意見を聞いて、そういう考え方があるんだと思いました。続けられそうなのは今までサッカーを共にしてきた友達と一緒にサッカー部か、よい雰囲気陸上部なのかで悩みました。私も似たような経験をして、好きなこととやってみたいことだったらやってみたいことをやるべきだと私は思いました。

○今日の授業を受けて、3 年間自分が続けられる部活動に入った方がいいと思った。チャレンジするなら約束をやぶっ

てしまうけど、チャレンジすることが大切だと思った。小学 4 年生から続けている方はみんな仲良くできていいと思った。あまり悩んだことはなかったけど、悩んで決めていくこともとっても大切だと思った。部活などは考えて決めるものだと思った。

○自分がやりたいと思ったら、たとえやったことのないことでも友達がいなくてもチャレンジしていくことが大切だと思います。そして、新しいところで友達をつくったりしていくことが大切だと思います。そして新しいことにチャレンジするときに、友達が何か言ってきたら、そんなのを気にせずやりたいことをやるのが大事だと思った。

○拓哉が思うように小学校から続けていることだからやりきりたいと思うのはわかるけど、好きだと思う部活はやっぱり陸上部だと思うような気がします。だから人と話し合ったり、自分と同じ考えの人と考えを深め合ったり、異なる人とはやっぱりそうだよななどと思うので、これからは悩んだら一度自分の状況を人に話して、人の意見を聞きながら悩んでいきたいです。

○自分と同じ考えの人や違う考えの人と意見交換ができてよかった。なんか、自分と同じ考えでも、理由はちがったのがたくさんあっておもしろかった。もし自分が拓哉だったら、陸上部に入っていると思う。自分のことのように考えさせられて少し考えやすかった。

○もしも自分だったら、間違いなくサッカー部ですね。3 年間続けるのが不安なら、確実にとったほうがいい。友達と中学校でもサッカー部に入ろうと言う約束を前にして、サッカーチームにやっぱ陸上部というのは何とも言いづらい。結局、家族や先生と相談して本当に入りたい部活を決めたらいい。それでも決まらなかったら、空手に入ってほしい。

○この題材を通して学んだことは人にはさまざまな考え方があるということを学びました。大体の人は陸上部だったけど、サッカー部の意見も同感するところもあったり、そういう考えもあるんだと知ることができたのでよかったです。これからは 1 つの考え方だけでなく、いろいろな考え方をもてるようにしたいです。

○この題材を通して、第三者の視点からの意見とその人になりきり考えてみることで考え方が違うんだなと思いました。第三者視点からはチャレンジしてほしいと思います。でも、なりきって考えてみると、チャレンジする不安などがあります。なので、その二つの考えを比べながら、これから考えていこうと思います。
○もし自分だったときは、すごく悩むと思います。友達

との約束も歩けど、陸上やってみたい気持ちとかあると思うけど、部活動って種目とか関係なくチームだから、周りの人たちの支えとか後押しとかが悩んでいる人にとっての助けや救いだったりするのかなと思いました。でも一番はしっかり自分で決めて、自分でもしろうく、楽しくしていくものだと思います。

○部で 3 年間やると考えても、仲間に謝ってほかにいっても、仲間と同じところに行っても、自分が責任をもってその道に行っても無理だったら二年生になったときにその逆のところに行けばいいからこそ、自分に正直に選んだらいいと思う。だからこそ自分で考える。

○友達との約束も大事だけど、新しいことに挑戦することも大事だと思いました。もし、新しいことに挑戦するなら、友達に自分の思いを伝えてあやまれば大丈夫だと思います。自分ももし悩んだりしたときがあれば、自分ひとりでは悩まず、友達などに相談して決めたいです。

○部活を決めるときは自分が 3 年間続けられる方に入った方がいいと思いました。友達との約束も大切だけど、本当の友達だったら自分の決めたことを受け入れてくれるし、何より後悔がなくてできると思います。この授業で違う立場の人の意見を聞くと「そうだよね」と思うこともあった。3 年間する部活だから自分の意志で決めた方がいいと思いました。

○この題材を通して、拓哉の気持ちを考えて行動することができた。自分の気持ちを深めることができたし、他人の意見を知ることができたのでよかった。

○最初は陸上部に入った方がいいと思っていたけど、サッカー部の人の意見を聞いていると確かにと思う意見がたくさんありました。拓哉はサッカーを続けているし、友達もたくさんいるけど、陸上部に入りたいと思うなら陸上部に入った方がいいと思いました。陸上をやっていると、そのうち友達がたくさんできて、3 年間続けることができると思うからです。

○自分の行きたい場所に行けばいいと思う。無理して楽しめない場所に行っても楽しくなかったらすぐに辞めてしまうから、自分の意見を大事にしていこうと思いました。

○いろいろな人の意見を聞いて、自分が拓哉だったらサッカー部に入っていたかもしれないけど、拓哉にアドバイスをするなら陸上部をすすめるなと考えました。私は友達がいたから部活を続けられていた時期があったので、実際に自分が入るとしたらサッカー部だと思います。でも、すごく

悩むことだと思いました。

○違う意見を聞いたら、どちらにするか迷うなと思った。やりたいことをするのは大切だけど、挑戦するのも大切だなあと思った。友達から「陸上部に入って怒る人は友達じゃない」と言われたのがとても印象的だった。確かにそうだなと思った。難しい選択だと思った。

○自分のやりたい部活と友達との約束で迷っているのなら、自分のやりたい部活をやるべきだと思う。もし理由を説明して「裏切り者！」とかいうやつだったら友達じゃないし、約束守ってサッカー部で試合に出れないまま、つまらない思いのまま終わってしまうのだったら陸上部に入った方が良かったと思った。

○どちらに入っても良いところと悪いところもあると知れたし、自分なら他の人からではまったく意見が違くなると知れた。同じ意見でも、ちがう理由のものがあつたから、自分が気づけない部分もあつて知れた。2 つの考え方をしても、最終的には決めることも大切だと思いました。

○自分の気持ちに正直にいった方がよいと思いました。どちらに入っても後悔するかもしれないけど、最初に入りたいと思ったら、頑張れると思います。友達との約束を守らないといけなけれど本当の気持ちを伝えたら理解してくれるはず。みんなの気持ちを聞いて、一人で考えずにいろいろ意見を出してもらったらわかる。

○松永先生もおっしゃったように、第三者であれば「この機会に新しいことをしてみなよ！」ってなるけど、自分となると仮入部の経験だけで不安が大きい中頑張れるのかって考えると悩むし、安心したいから友達と約束したからってなってサッカー部に入ると思う。最終的に自分は 9 年間のバドを辞めたのは、文武両道ができなくて、成績も今の環境じゃ難しいからってことで、美術部に入ったけど最初は後悔もあったから…すごく悩みました。さまざまな意見の中で考えることが多かったし、こんな風に第三者から見て考えるのも大切だと思った。

○拓哉くんの悩みは自分に当てはめて考えてみると、すごく決めるのが難しいけど、友達だけを考えるよりは自分のやりたいことにチャレンジした方が後から後悔しなくていいかなと思う。だから、この題材を通して思ったことは、思いっきりチャレンジするのは大切だということ。

